

学校だより

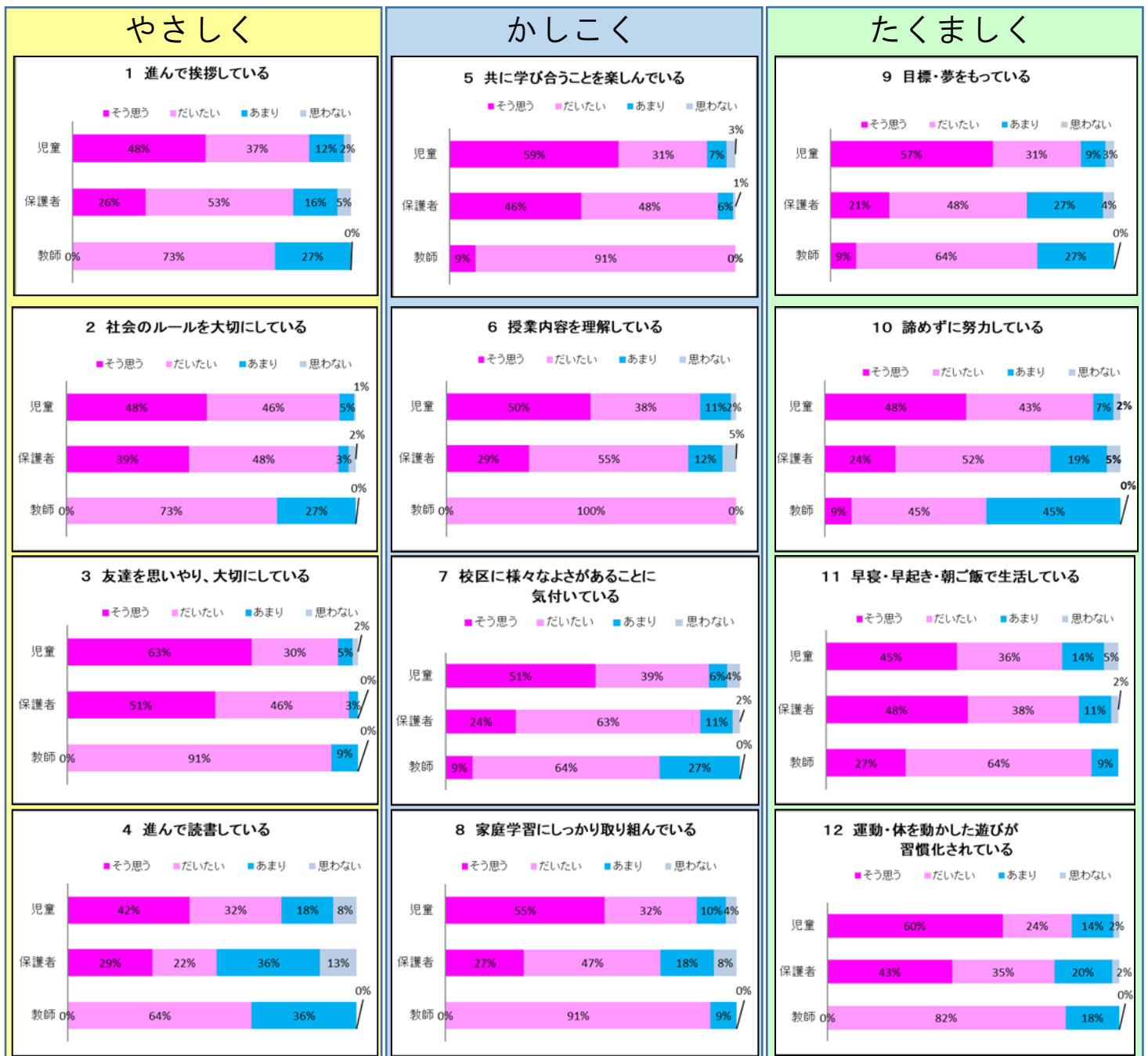


# くすのき

浜松市立追分小学校  
令和8年3月10日  
第18号



11月に実施した学校評価アンケート結果及び考察と、2月16日に開催された学校運営協議会にて、委員の皆様からいただいた御意見について報告いたします。紙面の関係上、ここではその一部を紹介いたします。詳細については、「学校評価報告書」を学校ホームページに掲載しますので、御参照ください。



### 考察

- 本校の特色の一つである「発達支援教育」を根幹に据えたインクルーシブ教育の視点から、今後も指導の重点として充実させていきたい。
- 「5. 共に学び合うことを楽しんでいる。」「7. 校区に様々なよさがあることに気付いている。」の項目において肯定的な回答率の伸びが見られ、約90%に達している。探究的な学習や体験活動などを適切な時期に、意図的に取り入れてきた。また、自分の思いを表現したり、自分とは異なる意見を受け入れたりして学びを進める授業づくりを構想してきた。それぞれの考えや作品を認め合い課題解決を目指す「協働的な学び」にタブレットの活用を進めてきたことも有効であったと考える。

### 改善点・改善策

- 「4. 進んで読書している。」について

この項目では、毎年伸び悩んでいる。今年度は読書指導の手立てを意識して取り組んできた。その結果、「1日当たりの読書量が30分以上達している」児童の割合が29.7%→33.3%と伸びがみられた。しかし、保護者の実感は横ばいである。そこで、来年度の日課に「ロング読書の日」を設定し、年間を通して読書機会を意図的に確保していく。引き続き、読書週間や読み聞かせボランティアを活用し、読書の必要性や魅力を伝え、家庭にも啓発していく。

- 「10. 諦めずに努力している」について

本校の実態として、自分の目標に向かって粘り強く取り組む姿に課題がある。自分らしく生きる術を身に付け、自立していく児童の育成を目指し、4つの力（かかわる力・見つめる力・のりこえる力・夢に向かう力）を意識させる教育的仕掛けや働き掛けを行っていく。また、トラブルの解決方法が未熟であったり、児童同士の人間関係づくりに課題がある。「チーム担任制」を導入し、多くの目で児童を見守り、指導・支援していく協働体制を構築していく。

### 学校運営協議会委員の皆様からいただいた御意見

- 何度か学校ボランティア（追分応援団）に参加するうち、通りかかるとあいさつしてくれる、手を振ってくれる子が増えた。昨年からの課題であった、年間を通してのあいさつの取り組みの成果がでてきているように感じる。
- 家庭学習については「自己調整力」（自分に合った学習法を選び、自分で学習をコントロールしていく力）が必要であると考え。児童の実態に合った「自己調整学習」の研究推進に期待したい。
- なりたい自分を実現するためにどうするか、プロデュースする力の育成も大切である。興味や関心のある事柄に対し、目標達成のためには何が必要か、セルフマネジメント力を育てることができるよう、家庭や学校で意識づけできる環境を整えることが望ましい。

一年間、保護者の皆様には、本校の教育活動に多大なる御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。

学校評価アンケートの結果やいただいた御意見を基に、学校では来年度に向けての教育課程編制会議を重ねて参りました。子供たちが通いたくなる「楽しい学校」、保護者や地域の皆様が子供たちを通わせたい「楽しい学校」、その実現に向け、令和8年度も、職員が丸となり教育活動に取り組んで参ります。引き続き、御支援の程、よろしく願いいたします。